事業番号	08 04 23	事業改善シート(24年度実施事業分)	口予算	算要求 □予	算案 ■点	诶	
事業名			部局	農政部			
		担当	課∙室	園芸畜産課			
<参考>	プロジェクト		課	E-mail	enchiku@p	enchiku@pref.nagano.lg <u>.jp</u>	
総合5か 年計画	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業					
<b>年計</b> 画	ルビ州・シ州の日日が延州	2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産		実施期間	S50	~	
1 事業の概要							
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □							

目指す姿	○県有種雄牛「栄寿」を中心とした優秀な精液を活用し、高品質で市場性の高い子牛生産や優秀な繁殖雌牛群の造成を図る。 ○こだわりの純粋豚や品質の高い三元交配豚を作出するために、希少価値のある純粋豚の維持と精液配布の拡大を図る。									
現状	○県有種雄牛「栄寿」は、前回の全国和牛能力共進会で好成績を修め、今年度も共進会に出品する。 ○和牛6頭の精液を活用して信州産の肉用牛生産を進めるとともに、希少価値のある純粋豚の供給を進め畜産農家のニーズに応える。 ○精液等で新たな血統を入れながら、養豚農家が利用しやすい種豚を維持していく必要が増している。									
県が関与 する理由				の必要性有	【左記の説明、根拠法令等】 県が保有する種畜は知的財産として県が管理と精液採取、凍結調製、保 管及び供給等を行う必要がある。					
	1	成果目標(H24)  ○黒毛和種種雄牛6頭の飼養との ○牛凍結精液2,800本の供給 ○豚精液1,800本の供給	精液生産							
	2	事業内容						(単	位:千円)	
		項目	実施方法		H24事業実績		H2	-	H25	
		・種畜の飼育と精液生産	直接	<ul><li>・種畜を飼養するため</li><li>・精液性状の確認と凍</li><li>・飼育舎の保守点検と</li></ul>	結精液の生産、保管、則	(当初) 3,460	(決算) 3,066	(当初) 2,687		
事業内容		・凍結精液等の管理供給 直接 ・種畜を飼養するため ・生産される精液性状 ・飼育舎の保守点検と			の確認と液状精液の生産	産、販売	2,471 2,363 2,3			
						合計	5,931	5,429	5,059	

	区 分(単位:千円)		22年度	23年度	24年度	25年度	
	_		前年度繰越				
	予算		当初予算	7,298	6,107	5,931	5,059
事	額		補正予算				
業	í		合計(A)	7,298	6,107	5,931	5,059
^			国庫支出金				
П	Aの		県 債				
_	財源	į	その他(財産収入)	7,298	6,107	5,931	5,059
ス			一般財源	0	0	0	0
۲	決	筝	算 額(B)	7,298	6,107	5,931	
	概	算 職員数(人)		5.55	5.55	5.55	4.82
	人件	費	概算人件費 (C)	46,159	45,832	45,832	39,804
	概算事業費(B(A)+C)		53,457	51,939	51,763	44,863	

成果目標の達成状況							
項目	現況		H25				
供口	(見込)	目標	成果	達成状況	目標		
和牛種畜の系統維持	6頭	6頭	6頭	達成	4頭		
牛凍結精液の供給	1,665本	2,800本	1,015本	未達成	2,800本		
豚液状精液の供給	1,452本	1,800本	1,451本	未達成	1,800本		

目標に対 する成果 の状況

・信州産の肉用牛生産を高めるため、引き続き6頭の和牛種畜の系統を維持した。 ・牛凍結精液の供給本数については、現在は種雄牛造成を行っていないため、遺伝的な改良のニーズが農家と合わなくなった種雄牛があり、 目標達成に至らなかった。

## 2 今後の事業の方向性

<b>人</b> 然 声光	□ 事業を実施しない	■ 事業を見直して実施	□ 事業を現行どおり実施
今後、事業をどのよう			
にしていき たいか。	凍結精液の需要が減っている。	和牛種飴の頭数を減らすととも	に、精液の供給本数を増やすために農家へのPRを実施する。